

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.31

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

第13回 定時総会を開催

本協会の第13回定時総会が6月23日に青森市の「ラ・プラス青い森」で催され、第1号議案の平成27年度の事業報告及び収支計算書類、第2号議案平成28年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法、第3号議案の平成28年事業計画及び収支予算の報告について、原案どおり承認された。

この中で、渡部会長から、熊本地震により被害に遭われた方々へのお見舞い、畜産クラスター事業（機械導入事業）の本県窓口団体としての業務を行っていること、協会の経営状況が大幅に改善され、中期経営改善計画が順調に進んでいることが報告された。

また、第4号議案の役員の補選については、青森県獣医師会の盛田淳三氏が理事に選任された。



〈平成28年度の重点項目〉

1 経営支援対策

- (1) 畜産経営の安定と生産性向上を図るため、生産技術の支援及びインターネットによる情報の配信などの総合支援
- (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策（通称：マルキン）の推進
- (3) 家畜排せつ物の耕種農家の土づくり促進と連携した利用促進
- (4) 公共牧場の有効利用と地域資源を活用した自給飼料の確保推進
- (5) 県産畜産物の普及推進

2 価格安定対策

- (1) 肉用子牛生産者補給金制度及び関連事業の推進
- (2) 肉用牛経営安定対策補完事業の推進（肉用牛ヘルパーの推進等）
- (3) 養豚経営安定対策事業の普及推進

3 家畜衛生対策

- (1) 家畜伝染病の発生・流行の防止のためワクチン接種の推進及び家畜防疫互助事業への加入推進
- (2) 牛海綿状脳症（BSE）対策特別措置法に基づく48月齢以上の死亡牛検査の推進及び牛の検査材料保冷施設の運営

生産者補てん金 交付状況

1. 肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		337,000円	307,000円	220,000円	133,000円	205,000円
合理化目標価格		280,000円	257,000円	149,000円	90,000円	147,000円
平成28年度 第1四半期 (4月～6月)	平均売買価格	797,900円	695,900円	508,100円	229,300円	387,800円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

2. 肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		450,000円	410,000円	290,000円
保証基準価格		337,000円	307,000円	220,000円
平成28年度 第1四半期 (4月～6月)	平均売買価格	797,900円	695,900円	508,100円
	交付単価	—	—	—
	交付額	—	—	—

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）補填金交付状況

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
平成28年4月期（6月交付）	—	—	—	補填金交付なし
平成28年5月期（7月交付）	—	—	—	//
平成28年6月期（8月交付）	—	—	—	//

4. 養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
平成28年度 第1四半期 (4月～6月) 概算値	39,358円/頭	33,054円/頭	0円/頭

マルキン事業に関するお知らせ

1 平成28年度の当該事業に係る肥育牛1頭当たりの生産者積立金については、(独)農畜産業振興機構から通知がありましたのでお知らせします。

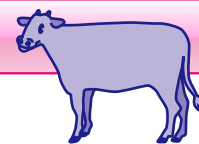
区分	平成28年度	平成27年度	増減	備考
肉専用種	10,000円	10,000円	0円	
交雑種	25,000円	25,000円	0円	
乳用種	26,000円	17,000円	9,000円	

2 当該事業は、平成28年5月31日（3月期の補填金確定）で第2業務対象年間（平成25年度～平成27年度）が終了し、肥育安定基金に残額が生じたため、当該事業実施要綱第3の1の（5）の規定に基づき、生産者と（独）農畜産業振興機構に肥育安定基金の残額を返還しましたのでお知らせいたします。

○基金返還額

品種区分	生産者返還分	機構返還分	返還額合計額	備考
肉専用種	209,047,685円	632,988,527円	842,036,212円	
交雑種	331,308,417円	1,028,508,813円	1,359,817,230円	
乳用種	682,686,617円	2,074,600,448円	2,757,287,065円	
合計	1,223,042,719円	3,736,097,788円	4,959,140,507円	

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表

【開催日 28年6月10日】 <速報値>

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	289	1,190,160	266,760	852,643	300	328	2,602	339	851,241	2,606	-4
	雌	210	1,097,280	83,160	750,621	310	296	2,533	201	742,723	2,524	9
	【小計】	499	1,190,160	83,160	809,708	304	315	2,574	540	810,848	2,578	-4
	主	11	969,840	703,080	815,400	301	316	2,580	4	817,830	2,556	24
日本短角種	雄											
	去	1	222,480	222,480	222,480	334	210	1,059				
	雌											
	【小計】	1	222,480	222,480	222,480	334	210	1,059				
	主											
乳用交雑種	雄											
	去											
	雌	1	429,840	429,840	429,840	346	337	1,275				
	【小計】	1	429,840	429,840	429,840	346	337	1,275				
	主											

・黒毛和種の取引頭数は499頭で、前回より去勢50頭減、雌9頭増、全体で41頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は810千円で、前回より去勢千円高、雌8千円高、全体で千円安となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	53	849,369	325	2,616	299	48	742,275	295	2,519	310	101	798,473	2,572	304	20.3
安茂勝	26	859,223	334	2,570	300	16	752,018	300	2,508	312	42	818,383	2,548	304	8.4
光平照	22	830,569	323	2,572	300	15	720,000	289	2,490	311	37	785,744	2,541	304	7.4
平安平	21	884,211	323	2,740	295	16	752,963	296	2,547	299	37	827,455	2,661	297	7.4
美津照重	18	874,680	333	2,623	295	14	782,614	313	2,504	307	32	834,401	2,573	300	6.4
美津百合	15	884,592	337	2,623	306	11	705,338	290	2,430	316	26	808,754	2,548	310	5.2
総合計	289	852,643	328	2,602	300	209	749,324	296	2,529	310	498	809,282	2,573	304	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で20.3%、次いで「安茂勝」8.4%となった。
 ・第一花国の平均価格は798千円で、前回に比べ41千円安となった。単価は2,572円で前回より56円安となった。

【開催日 28年7月8日】 <速報値>

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	260	1,408,320	297,000	868,864	297	331	2,627	290	851,826	2,598	29
	雌	197	1,117,800	432,000	751,039	306	300	2,500	210	750,266	2,532	-32
	【小計】	457	1,408,320	297,000	818,073	301	318	2,575	500	809,171	2,572	3
	主	3	957,960	825,120	876,960	281	316	2,778	10	821,124	2,616	162
子 牛	雄											
	去	260	1,408,320	297,000	868,864	297	331	2,627	291	849,663	2,595	32
	雌	197	1,117,800	432,000	751,039	306	300	2,500	211	748,747	2,525	-25
	【小計】	457	1,408,320	297,000	818,073	301	318	2,575	502	807,246	2,567	8
	主	3	957,960	825,120	876,960	281	316	2,778	10	821,124	2,616	162

・黒毛和種の取引頭数は457頭で、前回より去勢30頭減、雌13頭減、全体で43頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は818千円で、前回より去勢17千円高、雌8百円安、全体で9千円安となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	50	916,790	336	2,730	297	44	760,786	303	2,508	302	94	843,767	2,631	299	20.5
安茂勝	22	880,200	342	2,572	293	18	739,020	298	2,479	303	40	816,669	2,533	298	8.7
平安平	11	812,651	308	2,635	292	26	779,386	303	2,576	302	37	789,276	2,593	299	8.1
美津百合	19	776,406	310	2,502	299	10	721,008	293	2,464	309	29	757,303	2,489	303	6.3
幸紀雄	18	950,400	351	2,707	304	7	749,983	302	2,482	309	25	894,283	2,651	305	5.5
美津照重	15	911,520	330	2,759	285	8	754,785	304	2,487	309	23	857,003	2,670	294	5.0
総合計	260	868,864	331	2,626	267	198	749,427	300	2,495	306	458	817,230	2,572	301	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で20.5%、次いで「安茂勝」8.7%となった。
 ・第一花国の平均価格は844千円で、前回に比べ45千円安となった。単価は2,631円で前回より59円高となった。

次回開催日は8月5日（金）です。

畜産経営支援体制確立事業に係る研究会並びに推進委員会の開催

平成28年度畜産経営支援体制確立事業に係る研究会並びに推進委員会を平成28年7月20日県民福祉プラザで開催した。

会議の内容としては県委託事業である畜産経営支援体制確立事業の平成27年度事業実績・平成28年度事業計画並びに畜産相談窓口での主な相談内容とその対応について説明を行った。

引き続き行われた、推進委員会では県畜産課の各グループより重点事業の説明が行われた。

また、(公社)畜産技術協会平成27年度第50回優秀畜産技術者特別賞を受賞された県産業技術センター畜産研究所酪農飼料環境部研究管理員 佐藤義人氏に「家畜ふん尿処理と牧草栽培技術に関する研究」と題し青森型の汚水処理とその利用について講演をいただき閉会した。

牛白血病対策研修会を県畜産課と共催

牛白血病対策研修会を県畜産課と共催で、平成28年6月29日(水)八戸市のきざん八戸で開催した。

生産者・獣医師・行政機関・関係団体等を含め計114名と多数の参加があり、牛白血病に対する注目がうかがわれた。今回は3名の方々から以下の内容で講演があり、大盛況の中、研修会は終了した。

- ・「EBL対策について」農林水産省消費・安全局動物衛生課 木下 祐一氏
(衛生対策のガイドラインや各県における取組についての事例紹介)
- ・「家畜保健衛生所における牛白血病対策の取組」青森家畜保健衛生所 菅原 健氏
(手軽に入手出来る素材を使ってジャケットを作成しアブ防除の実証実験を行った様子)
- ・「生産現場における牛白血病対策」

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター御明神牧場 平田 統一氏
(ETB乳剤(忌避効果)噴霧に関することや防虫剤配合ネットの効果について)



馬肉専用処理センター完成

有限会社小田桐産業(代表取締役 小田桐喜吉)が田舎館村川部地区に建設を進めていた馬専用と畜場・処理加工施設「ATO食肉センター」が完成し4月から本格稼働している。同センターは鉄骨平屋で床面積約1千平方メートル、年間処理頭数710頭、販売額6億7千万円を見込む。施設名のATOは、青森、と畜場、小田桐産業の各頭文字から名付けた。今後、国際的な衛生管理基準・HACCP(ハサップ)の認証取得を目指す方針。

施設整備の背景は、これまで津軽地域で唯一馬のと畜業務を行っていた「日本フードパッカー津軽」が、豚に特化した食肉処理施設を新設することに伴い、馬のと畜業務がなくなることから、同社敷地内で処理加工を行っていた小田桐産業が自らと畜場の整備とハサップ対応の新たな処理加工施設を設置したものの。

同センターの整備事業は、小田桐産業や県、村、銀行などで構成する津軽地域馬肉振興協議会(事務局:畜産協会)が国の畜産クラスター事業を活用して整備した。総事業費は約4億8千万円。

小田桐代表は、「新施設の建設を機に、安全・安心な本県の馬肉を全国に広めていきたい」としている。



施設全景

あおもり大畜産まつり2016 開催

7月1～3日の3日間、青森県観光物産館アスパムにおいて、「あおもり大畜産まつり」が開催された。「あおもりたまごかけごはんまつり」と同時に開催しているこのまつりも、今年で3回目の開催となった。

当協会が事務局を持つ青森県養蜂協会では、3日間とも出展し、養蜂協会会長である鳥谷部養蜂場のはちみつやローヤルゼリー等蜂産品を販売した。例年好評の1匹だけ入れた女王蜂を探して見つけてもらう「透明巣箱の展示」のほか、今年は手回しの遠心分離器を使い実際に巣からはちみつを採取する「採蜜体験」を各日2～3回実施し、採取したはちみつの試食に子供から大人まで沢山人集りができるほど大盛況だった。

来場者も昨年より大幅に増加し、県産はちみつのPRの場として非常に良いものとなった。



若手酪農家が集結！ らくのうサミット in 青森



全国から若手酪農家が参集し交流を図るクラブユース事業（地域交流牧場連絡会主催）と共催し、本県で酪農経営者を目指す若手後継者や学生等を参集した酪農研修会をABITANI ジャージーファーム（鮭ヶ

沢町）で開催した。

全国各地から若手酪農家が24名集まったほか、県内からは三本木農業高校5名、県営農大3名、北里大学9名、弘前大学2名が参加した。

グループに分かれ①教育ファーム②六次産業化③将来とこれからの酪農④新規就農などのテーマでグループディスカッションが行われたほか、バーベキューやキャンプファイヤーをして交流を深めた。

今回参加した酪農家は先進的な経営者が多く、「苦勞して働く酪農から、いかに合理的に経営し休日を確保する経営にできるかを考えている。身を粉にして働く産業は長く続かない」と「楽農」に対する考えの議論が多く出た。県内の参加者で三農高の学生は「クラブユースを初めて知り、若い酪農家が全国にたくさんいることを知った。自分も就農へ向けて考えたい」と話していた。次回は12月に東京で開催される。

平成28年度 堆肥展示会始まる（あおもり堆肥ネットワーク推進協議会）



県内の堆きゅう肥活用促進を目的とした堆肥展示会が、ヤンマーアグリジャパン（株）ほか農機具メーカー等と共催で津軽地区（6月25日～26日：鶴田町）を皮切りに南部地区（7月15日～16日：六戸町）で始まった。両地区とも多くの耕種農家が会場を訪れ作物ごとの堆肥の使い方、堆肥の購入方法について相談があった。今後、堆肥ネットワーク推進協議会としては、要望の多かったニンニク、葉タバコ、いちごなどについて既存のデーターも活用しながら堆肥の利用方法などのPRに努めていく。

今後、9月7日～8日に青森県産業技術センターりんご研究所（黒石市）にて開催予定。

平成28年度 家畜衛生表彰者

本協会では、地域の生産者や指導者の中から功労のあった方々を表彰しています。

東青地区



豊島 弘子 (とよしま ひろこ)

昭和42年から養豚経営に携わり、平成10年からは町からの貸付牛2頭を基に肉用牛との複合経営を始めた。

平成11年旦那さんの死亡時には畜産経営をやめることも一時考えたが、元来の動物好きなこともあり、肉用牛繁殖経営に専念することとし現在に至っている。

飼養管理方法は、牛にストレスを与えないよう、清潔で、ゆったりとした牛舎スペースを確保することをモットーに、こまめな個体観察が行われており、繁殖牛の連産性確保と子牛の疾病及び事故防止による良好な発育を保っている。このため同氏の牛は、人になつき、おだやかな動作をしているの

が特徴で、昨年度の青森農業協同組合畜産部会共進会では経産牛の部で優等賞を受賞した。このように、同氏は高齢にもかかわらず高い飼養管理技術を発揮するとともに、家畜衛生に対する意識も高く、飼養衛生管理基準の遵守を徹底している。



木村 清秀 (きむら きよひで)

平成10年に平内町に奉職。平成14年から農林畜産課農業振興係、平成20年から産業振興課畜産林務係へ配属となり、今日まで一貫して農林・畜産振興に関わる技術及び経営指導を行っている。

同町においては、生産者の高齢化と労働力の低下に伴う繁殖成績の低迷が懸念されていたことから関係機関（役場、農協、民間獣医師、家保）の連携による繁殖成績の積極的な把握、定期巡回による積極的な繁殖検診、飼養管理指導といった生産者を支援する「地域一体となった繁殖管理体制」を平成25年に整備し、積極的な対応を図っている。

同氏は、この取組みの中で生産者、家畜人工授精師がそれぞれ管理していた分娩や人工授精の実績を取りまとめ、町内の全戸、繁殖牛全頭の成績を一括管理した。更に、コンピューターに精通していることから、繁殖検診の対象牛を自動で抽出できる繁殖管理台帳を作成した他、データを繁殖雌牛ごとのカルテ様式でも表示できるよう工夫するなど巡回指導の効率化も図られた。

同氏のデータ管理を基にした定期巡回は現在も継続しており、町全体として繁殖成績が改善するとともに生産者の安心、信頼へと繋がり、高齢者の農業経営継続の大きな支えとなっている指導者である。

三八地区



欠端 則夫 (かけはた のりお)

祖父の代より始めた肉用牛を昭和52年に引継ぎ、地域の特性を生かし放牧を取り入れた優良子牛の生産に取り組んできた。現在は肉用牛22頭の繁殖・肥育の一貫経営を行っており、常に安定した経営を維持している。

また、肉用牛経営の傍ら、川代牧野組合組合長、三戸畜産農業協同組合肥育部会長、三戸地方黒毛和種改良組合及び三戸地方黒毛和種育種組合の副組合長、理事などの要職を務めるとともに、自ら人工授精師として地域の和牛改良と優良子牛の生産に大いに貢献している。現在、田子町議会議員として町政にも参加し、地域の畜産振興にも貢献している。



中村 昭二 (なかむら しょうじ)

青森県役馬利用指導者養成所修了後、獣医師免許取得し、昭和25年から青森県職員として家畜の防疫対策や家畜指導業務に従事された。昭和61年青森県職員退職後、(社)青森県肉用牛開発公社常務理事などを経て、平成8年4月から三八畜産衛生協議会事務局長として、地域の家畜防疫事業や自衛防疫事業の推進に取り組んでいる。

現在も当協議会の事務局長として活躍されており、地域の家畜衛生の向上及び畜産の発展に大いに寄与している。

上十三、むつ、津軽地区の表彰者は、次号で紹介いたします。

畜産クラスター事業（機械導入事業）説明会 開催

平成28年5月23日に、畜産クラスター事業のうち機械導入事業に係る今後の対応について、関係者を対象とした説明会を青森県畜産課と共催で開催した。

畜産クラスター事業については、T P P対策の目玉事業として、国の平成27年度補正予算で約610億円が措置されるとともに、財源を基金化して複数年度にわたる事業実施が可能となった。

本協会は、基金管理団体（事業実施主体）である公益社団法人中央畜産会から事務委託を受け、機械導入事業の青森県における窓口団体として、事業実施に係る関係書類の取りまとめや各種文書の伝達などを行う。説明会では、県畜産課職員から事業の仕組みと畜産クラスター計画及び第2回要望書取りまとめのスケジュールなどについて説明があり、本協会からは事業参加要望書や申請書の作成など具体的な事務手続きについて説明を行った。

予算割当については、中央畜産会から青森県の第1回目の要望額約13億8千万円に対して7億1千万円の配分があったが、現在対象となった生産者からの事業参加申請書を取りまとめている。

協会では、畜産クラスター事業の問い合わせに対応しています。不明や疑問な点がありましたら是非ご連絡ください。

また、今回惜しくも対象者にならなかった生産者については、より計画の中身を充実させた上で、再度チャレンジして頂くことになります。本畜産クラスター事業を通じて、地域の関係者が有機的に連携・結集しながら、地域ぐるみで畜産・酪農の収益力と生産基盤を強化して参りましょう。

【お問合せ】経営支援部（担当：中嶋）

TEL 017-723-2775 / FAX 017-731-1196

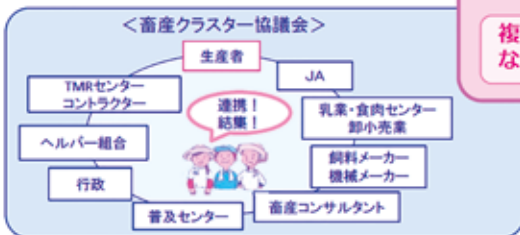


畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

- 畜産クラスターの仕組みを活用して、平場・中山間地域など、地域の畜産関係者が有機的に連携・結集し、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を加速化することが重要。
- このため、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備、家畜導入を支援。
- また、基金を民間団体に造成し、複数年度の事業実施を可能とするなど弾力的に運用。

畜産クラスター事業を基金化

複数年度の事業実施を可能とするなど弾力的に運用を行う



調査・実証・推進事業

検討会の開催、新たな取組に関する調査・実証、取組をコーディネートする人材の育成等を支援

実証成果を全国的に普及

・補助率 定額

施設と機械が一体的に整備可能となるよう運用方法を見直し

機械導入事業

中心的経営体の収益力の強化等に必要な機械のリース導入を支援

- ・補助率 1/2以内
- ・個別経営体も対象



搾乳ロボット



飼料収穫機

施設整備事業

中心的経営体の収益力の強化等に必要な施設整備、家畜の導入（対象を地域的な規模拡大（貸付方式の施設整備）の場合にも拡大）を支援



家畜飼養管理施設

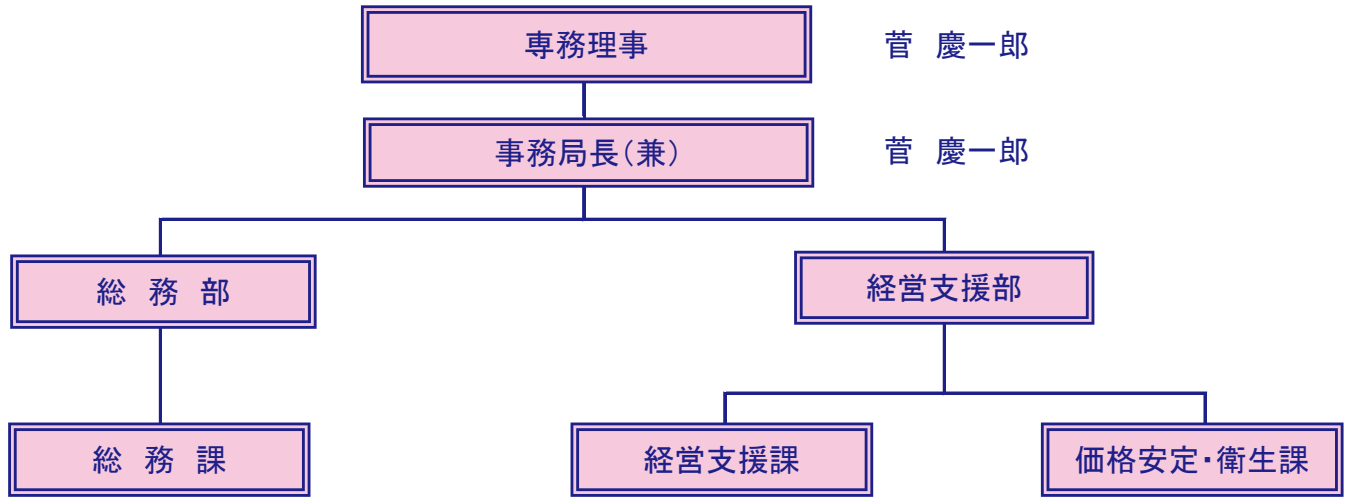


飼料調製施設

- ・補助率 1/2以内
- ・個別経営体も対象
- 法人経営、法人化の計画を有している家族経営

（※公社等が整備し、中心的な経営体に貸し付ける場合も含む）

平成28年度 職員紹介



部長 鹿内 晴美

部長(兼) 菅 慶一郎

課長代理(囑託) 森山 芳伸
 主任(兼) 葛西 哲人
 主任 千葉 健一

課長 鈴木 善信
 総括畜産コンサルタント(囑託) 山田 育夫
 主幹(囑託) 中嶋 峯雄
 主任 村田 春菜
 技師 太田 亜夢子

課長(兼) 鹿内 晴美
 主任 葛西 哲人
 主任 葛西 裕子
 臨職 新山 藍
 臨職 山内 早希

牛の検査材料保冷施設

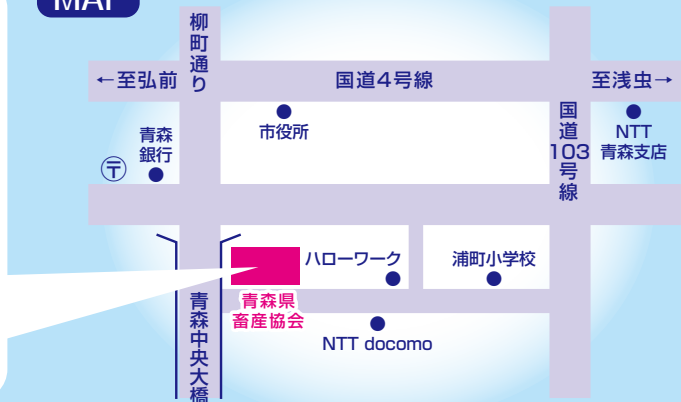
よろしくお願いたします

臨職 堀内慎一郎

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
 経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課 Tel(017)722-4331(衛生)
 Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp